

津山工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	国際英語論 I	
科目基礎情報							
科目番号	0109			科目区分	専門 / 選択		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	総合理工学科(先進科学系)			対象学年	4		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	『技術英語：実践的技術英語テキスト：初級～中級レベル』（電気書院）						
担当教員	ランボー エリック						
到達目標							
学習目的：初級技術英語の語彙，発音，文法，リスニングを学ぶ。本授業では学生がより速く正確に英文を理解できる力をつける。また，250語程度の英作文ができるようになることをめざす。							
到達目標： 1. 英語でコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付ける。 2. 標準的な発音を聴き，音を模倣し，つづりと音との関係を理解できる。リエゾンなど、語と語の連結による音変化を認識し，基本的な強勢を正しくできる。 3. 技術英語の基本的な文章を理解できる。 4. 適切な文法を使って，技術的な題材についての基本的な英作文ができる。 ◎日本語と特定の言語を用いて相手の意見を聞くことができ，効果的な説明方法や手段を用いて，自分の意見を伝え円滑なコミュニケーションを図ることができる。							
ルーブリック							
	優	良	可	不可			
評価項目1	英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を持ち，具体的情報や考えなどを理解したり伝えたりできる。	英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を持ち，具体的情報や考えなどを理解したり伝えたりがおおむねできる。	英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を持ち，具体的情報や考えなどを理解したり伝えたりが最低限できる。	英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を持ち，具体的情報や考えなどを理解したり伝えたりできない。			
評価項目2	英文を正しい区切りやイントネーションで音読することが十分できる。	英文を正しい区切りやイントネーションで音読することができる。	英文を正しい区切りやイントネーションで音読することが最低限できる。	英文を正しい区切りやイントネーションで音読することができない。			
評価項目3	本文の要旨を英語でまとめることが十分できる。	本文の要旨を英語でまとめることができる。	本文の要旨を英語でまとめることが最低限できる。	本文の要旨を英語でまとめることができない。			
評価項目4	ペアワークやプレゼンテーションにおいて口頭で自分の考えを伝えることが十分できる。	ペアワークやプレゼンテーションにおいて口頭で自分の考えを伝えることができる。	ペアワークやプレゼンテーションにおいて口頭で自分の考えを伝えることが最低限できる。	ペアワークやプレゼンテーションにおいて口頭で自分の考えを伝えることができない。			
評価項目5	日本語と特定の言語を用いて相手の意見を聞くことができ，効果的な説明方法や手段を用いて，自分の意見を伝え円滑なコミュニケーションを図ることが十分できる。	日本語と特定の言語を用いて相手の意見を聞くことができ，効果的な説明方法や手段を用いて，自分の意見を伝え円滑なコミュニケーションを図ることができる。	日本語と特定の言語を用いて相手の意見を聞くことができ，効果的な説明方法や手段を用いて，自分の意見を伝え円滑なコミュニケーションを図ることが最低限できる。	日本語と特定の言語を用いて相手の意見を聞くことができず，効果的な説明方法や手段を用いて，自分の意見を伝え円滑なコミュニケーションを図ることができない。			
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	一般・専門の別：一般・英語・国際コミュニケーション推進プログラム						
	必修・履修・履修選択・選択の別：履修選択						
	基礎となる学問分野：英語学・言語学・英米 / 英語圏文学						
	学科学習目標との関連：本科目は「④教養豊かな実践的人間力の養成」，「⑤グローバルな視点と社会性の養成」，「⑦コミュニケーション力・プレゼンテーション力の育成」に相当する科目である。						
	技術者教育プログラムとの関連：本科目が主体とする学習・教育到達目標は「(F) コミュニケーション能力，プレゼンテーション能力の育成，F-3：技術者に必須の外国語である英語でコミュニケーションができること」である。						
授業の進め方・方法	授業の方法：本科目は前期に開講する。4技能（リーディング、ライティング，リスニング，スピーキング）全てのスキルの向上を目指してアクティビティーを行う。						
	成績評価方法：2回の定期試験の結果を平均して評価する（50％）。定期試験の結果に加え，平素の課題，小テスト，発表など（50％）を総合して成績評価をおこなう。試験には教科書・ノートの持込みを許可しない。場合によっては再試験を実施する。						
注意点	履修上の注意：本科目は「授業時間外の学習を必修とする科目」である。1単位あたり授業時間として15単位時間開講するが，これ以外に30単位時間の学習が必修となる。						
	履修上のアドバイス：予習・復習・課題を指示するので必ず取り組むこと。ノートを準備して授業のノートを取り，頻繁に授業の復習をすること。本授業では辞書は必須である。（可能であれば，電子辞書が好ましい。）						
	基礎科目：英語I（1年），英語表現I（1），英語II（2），英語表現II（2），英語III（3），英語IV（4）						
	関連科目：国際英語論II（4），英語V（5）						
	受講上のアドバイス：積極的に授業に参加すること。教科書・英和辞書を持参し，予習や課題を取り組んだうえで授業に臨むこと。小テストは適宜おこなうので，必ず参加すること。						
授業計画	遅刻について：授業開始20分すぎでの入室は欠課扱いとする。						
	週	授業内容			週ごとの到達目標		

前期	1stQ	1週	●ガイダンス（予習・復習など学習法の説明，受講上の注意） Lesson 1	
		2週	Lesson 1 – 2	
		3週	Lesson 2	
		4週	Lesson 3 エッセイ提出	
		5週	Lesson 3	
		6週	Lesson 4	
		7週	まとめと定期試験対策	
		8週	●前期中間試験	
	2ndQ	9週	●前期中間試験返却と解説， Lesson 5	
		10週	Lesson 5	
		11週	Lesson 6 エッセイ提出	
		12週	Lesson 7	
		13週	Lesson 8	
		14週	まとめと定期試験対策	
		15週	●前期末試験	
		16週	前期末試験の返却と解説	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	小テスト	課題	合計
総合評価割合	50	0	0	0	25	25	100
基礎的能力	50	0	0	0	25	10	85
専門的能力	0	0	0	0	0	10	10
分野横断的能力	0	0	0	0	0	5	5